



つまずきをバネに  
～貧困の連鎖を断ち切る教育をめざして～

東京藝術大学

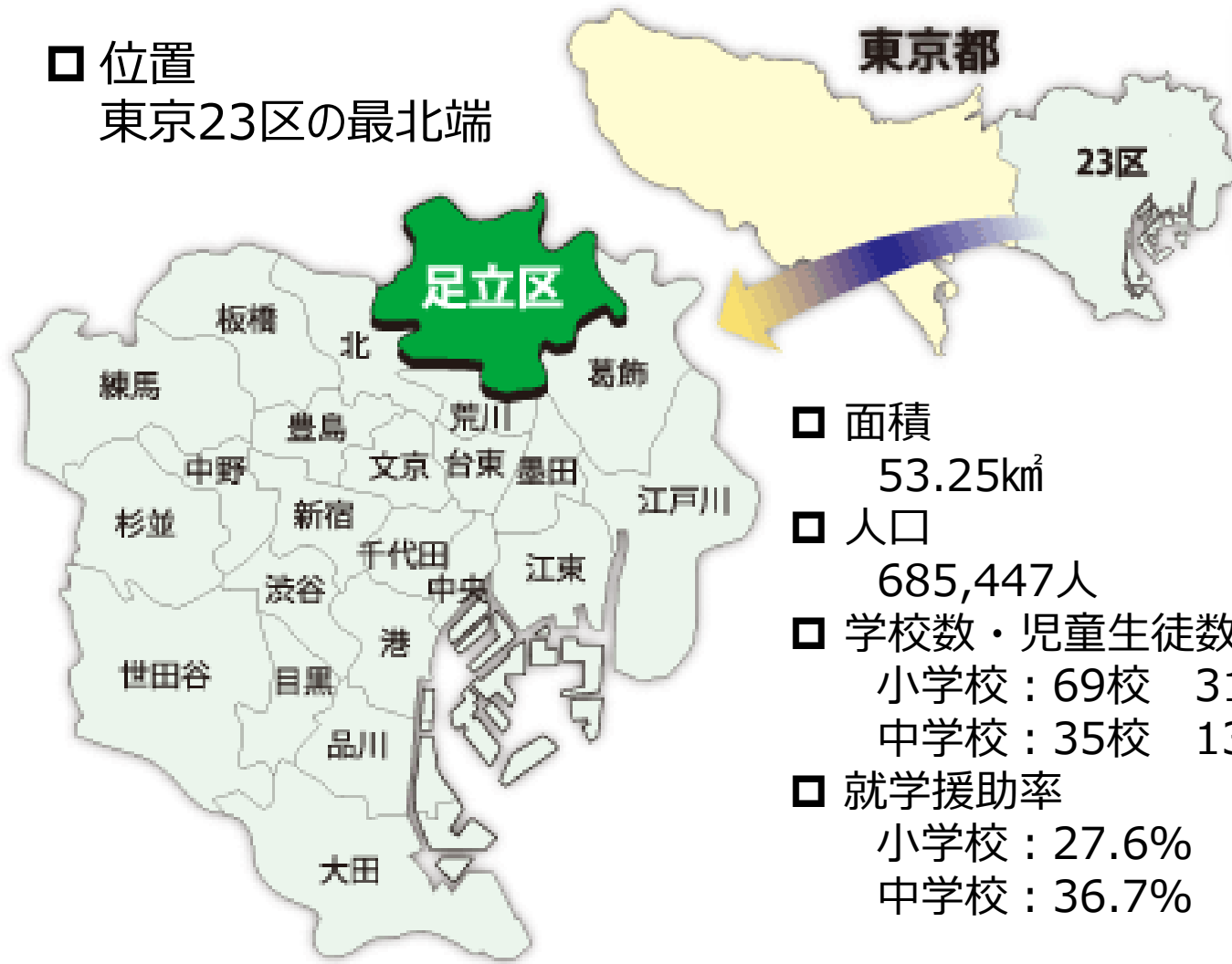
2020年11月13日  
足立区教育長 定野 司

足立区ビューティフル・スクール運動実施中

僕の学校のこんなところが好き 私の学校のあんなところが好き

# 足立区の概要

- 位置  
東京23区の最北端



- 面積 (2016年10月1日現在)  
53.25km<sup>2</sup>

- 人口 (2018年1月1日現在)  
685,447人

- 学校数・児童生徒数 (2018年5月1日現在)  
小学校：69校 31,669人  
中学校：35校 13,434人

- 就学援助率 (2019年3月31日現在)  
小学校：27.6% 東京都 20.5%  
中学校：36.7% 全国 15.4%

(東京都、全国は2015年調べ)

# 足立区教育大綱

平成28年2月策定

～夢や希望を信じて生き抜く人づくり～

0歳  
から

人間形成の基礎を養う

乳幼児期

6歳  
から

自立する力を培う

青少年期

18歳  
から

学びの成果を還元する

成人期

育つ

様々な出会いや  
かかわりを通じて、  
たくましく成長する  
ための素地をつくる

学ぶ

ともに歩み、磨きあいながら、  
自身の道を切り拓く力を培う

支える

自ら学ぶとともに、  
その経験を社会に  
還元する意欲を育てる

教え・支え・見守り

子どもの貧困対策

早め・丁寧・切れ目のないアプローチ

大綱の実現に向けた2本の柱

1. 誰もが子どもを支える主役

2. 貧困の連鎖を断ち切る教育

0歳から16歳までが対象

# 足立区教育委員会

## POINT

- 1 保育部門を教育委員会に編入
- 2 教育大綱に、子どもの貧困対策を位置づける

## 1 福祉部門との融合

平成  
23年

保育園・幼稚園を  
所管する子ども家  
庭部を、教育委員  
会に編入

平成  
25年

①基礎学力定着を推進する  
組織と就学前教育を所管す  
る組織を新設  
②福祉部から養育支援を所  
管する部門を教育委員会に  
編入し、こども支援セン  
ターげんきを設置

平成  
27年

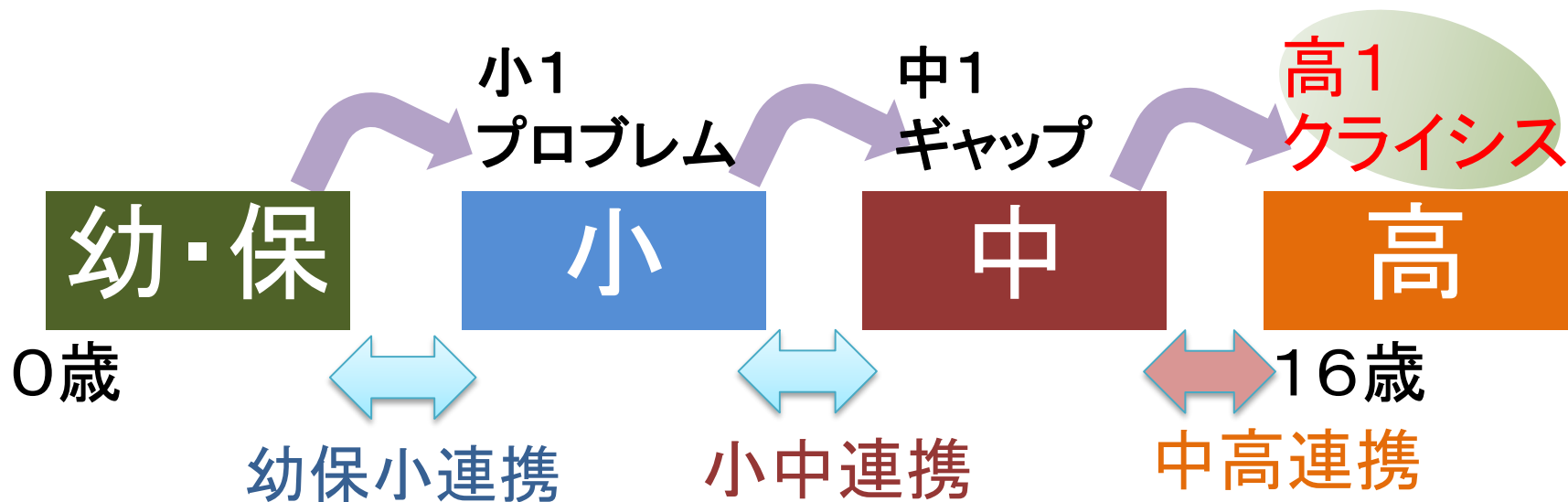
①新教育委員会制  
度に移行  
②足立区教育大綱  
を策定

## 2 足立区教育大綱

### 夢や希望を信じて生き抜く人づくり

乳幼児期	学齢期	成人期
様々な出会いやかかわりを通じて、たくましく成長する素地を作る	ともに歩み、磨き合いながら自身の道を切り拓く力を培う	自ら学ぶとともに、その経験を社会に還元する意欲を育てる

- ①誰もが子どもを支える主役
- ②貧困の連鎖を断ち切る教育  
(子どもの貧困対策)



※ **中高連携**で実現したいこと(例)

- ① 情報提供 学校設置の違いを越えて(中→高)
- ② 追跡調査 進学した生徒がどうなっているのか(高→中)
- ③ 不本意入学対策 進路指導(中)・中退予防と対応(高)

高1クライシスへの対応

POINT

子供への支援を円滑に行うため、同じ建物内で福祉と教育（心理）部門を一体化

## こども支援センターげんき

### 支援管理課

- 発達相談  
（主に未就学児）
- 特別支援教育
- 就学相談

福祉系と教育系の両方

### 教育相談課

- 教育相談  
（小学校から高校段階まで）
- 学校相談（SC,SSW）
- 不登校支援

主に教育系

### こども家庭支援課

- 子育て相談
- 養育困難家庭への支援
- 児童虐待対応

主に福祉系

# 福祉施策を教育施策に転換 不登校支援（家庭学習支援）

## POINT

福祉施策を発展させ、不登校施策として新たに事業を再構築（登校できない児童生徒の家庭を訪問し、学習支援を実施）

### 不登校児童のための家庭学習支援事業 （アウトリーチ支援）

委託事業者  
（学習支援中心）

福祉部局の事業  
（家庭教師派遣）

家庭に指  
導員を派  
遣する学  
習支援

ICTを活  
用した学  
習支援

教育相談課

外出の働きかけ

（学校復帰やオルタナティブ教育の提案）

SSWによ  
る家庭支  
援

SC、教育  
相談によ  
る心理相  
談

学校

学校復帰支援

個別学習計画  
の策定

学校への復帰（別室登校）又は教育支援センター（適応指導教室）等への通級を目指す。

## POINT

教育支援センター（適応指導教室）にも通えない不登校児童生徒を受け入れる居場所を、福祉部と連携して設置

居場所機能重視（集団生活に慣れる）

学習活動重視（学校に近い環境）

居場所を兼ねた  
学習支援  
《NPO連携》

3箇所

民間委託施設内

チャレンジ学級  
（教育支援センター）

3箇所

学校外・区施設

あすテップ

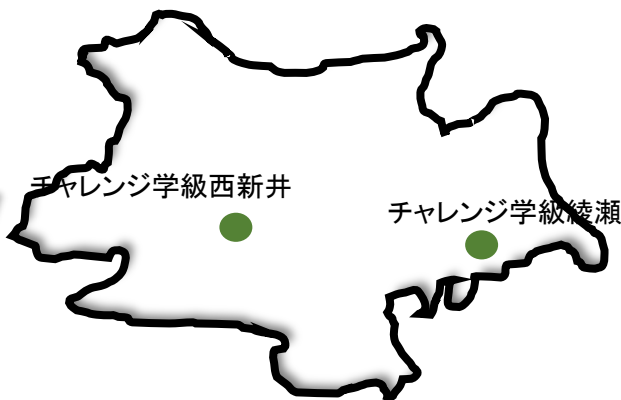
2箇所

中学校内

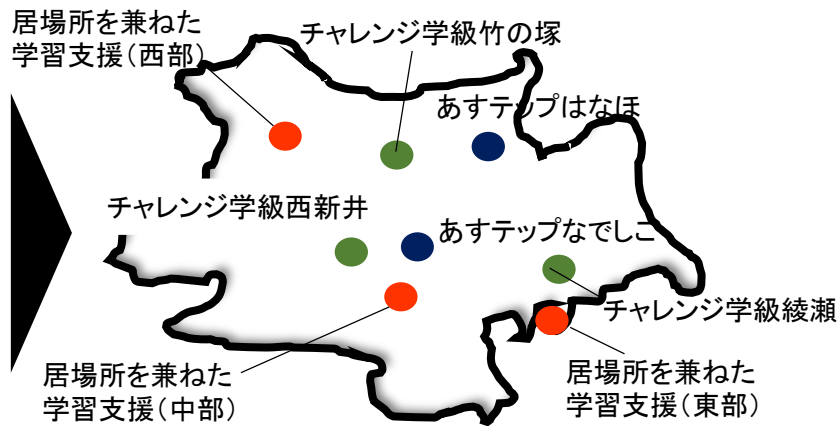
**福祉部（民間団体との連携も）と協力し、居場所が4倍に増加**

多様な居場所の確保  
に福祉施策を活用

平成21年度



令和2年度





POINT

教育と福祉の連携による、学力格差や経済格差の解消  
(所得要件&学力選考で選定)

## 趣旨

- 成績上位で学習意欲も高いが、家庭の状況等により塾などの学習機会の少ない中学3年生の進学を支援
- 「進学指導重点校」などの都立難関校等がターゲット

## 定員

100名

## 教科

数学・英語を中心に国語・社会・理科、面接指導までフォロー

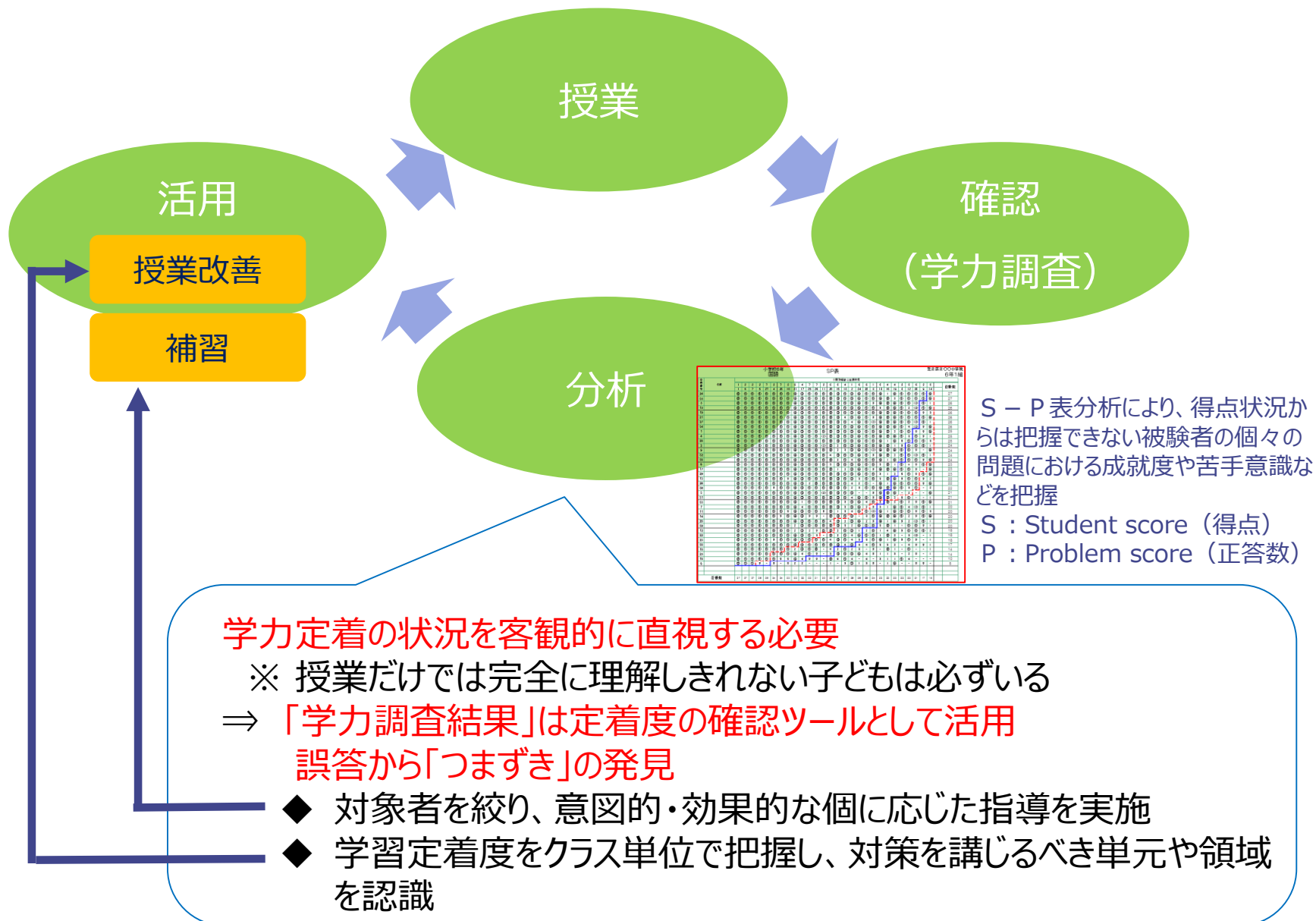
## 期間

中3の4月～2月 毎週土曜+夏季・冬季講座

## 講師

教科・進学指導に知識・経験を有する民間講師

# 学力調査 (S - P表分析)



## 小学校段階

### 3・4年生対象 ▶ そだち指導

国語・算数の授業で定着度が十分ではない児童に対し、つまづきの早期解消のために別教室で専門の指導員が個別に学習指導を実施。

### 1年生対象 ▶ M I M（多層指導モデル）

学習の基礎となる「流暢な読み」を目指し、異なる学力層の子どもに対応した指導・支援を実施（全校各クラス）。

### 2～5年生対象 ▶ あだち夏休み学習教室

夏休み前までに習得すべき基礎的・基本的な学力などを確実に身に付けられるよう、少人数指導を実施（各校の状況に応じた内容・コース設定）。

## 中学校段階

### 1年生対象 ▶ 中1 夏季勉強合宿

小学校の算数のつまづきを克服し、中学校の勉強に追いつくことを目的に宿泊勉強会を実施（各校より推薦）。

### 1・2年生対象 ▶ 数学チャレンジ講座

中学1・2年次に習得すべき数学の基礎的・基本的な学力を身に付ける補習講座を実施（各校20名）。

### 1年生対象 ▶ 英語チャレンジ講座

「英語大好き」な中学生を育てるために、中学1年生の前期に英語への苦手意識が生じ始めた生徒を対象に補習を実施（各校15名）。

### 3年生対象 ▶ 足立はばたき塾

成績上位で学習意欲も高いが、経済的理由等で塾等の学習機会の少ない中学3年生を対象にした勉強会を実施（区内100名）。

## 魅力ある授業の実現をめざして

### 教員対象 ▶ 教科指導専門員制度

教員の授業改善・充実のため、専門性の高い非常勤職員が巡回指導を実施。

### 教員対象 ▶ 小中連携教育事業

小学校・中学校合同での研修や授業交流などにより、9年間を見通した授業づくりや学びの連続性を意識した教育活動などを研究・実践。

POINT

乳幼児から義務教育段階終了（保育園・幼稚園・学校）までの健康診断データを管理

## 糖尿病対策アクションプラン

歯科口腔保健対策編 おいしい給食・食育対策編

こんにちは  
赤ちゃん訪問



3~4カ月健診  
1歳6カ月健診  
3歳児健診

あだちっ子  
歯科健診

小学校  
定期健康診断

中学校  
定期健康診断

健康情報の一元管理

0歳

7歳

13歳

15歳

## POINT

むし歯予防および早期の治療で健康の改善を図り、さらに子どもの貧困対策にも繋げる。

※開始6年目、年少児(4歳)～年長児(6歳)の全ての子ども対象

### ①統一基準の歯科健診

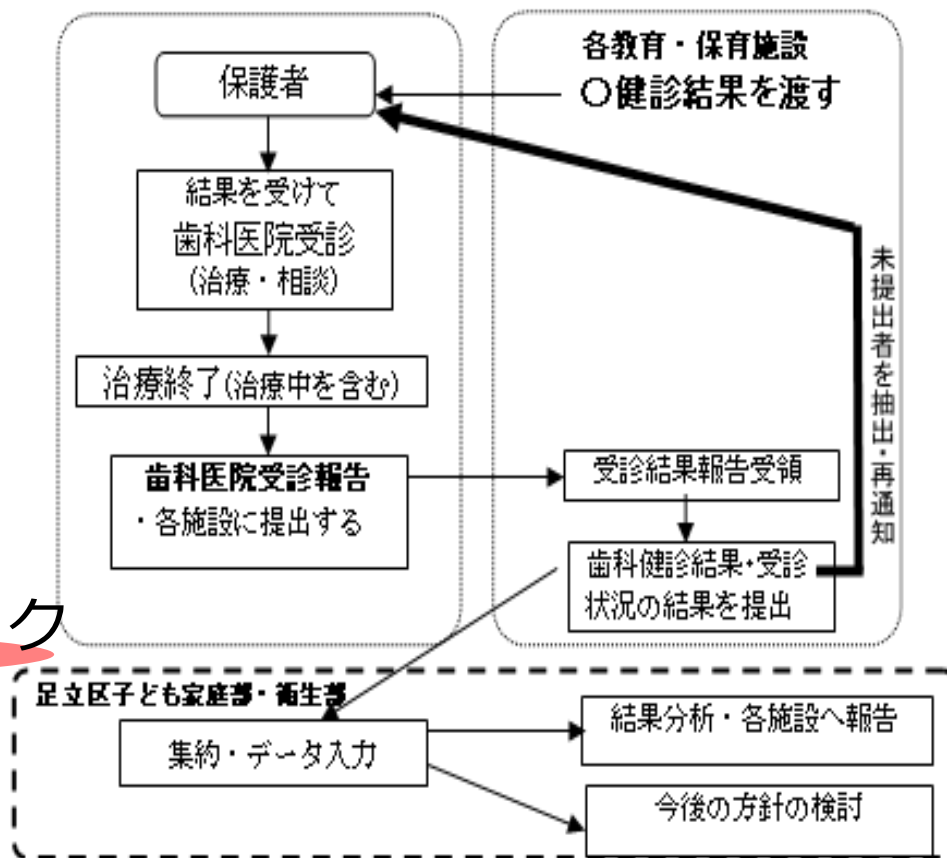
子どもの歯・口の状態を保護者に理解していただく

### ②丁寧な受診勧奨

歯科健診の結果、治療が必要な園児を医療機関につなげる

### ③結果の集計・分析・フィードバック

結果を集計し、園児の歯・口の健康状態の分析や今後の取り組みに活用する



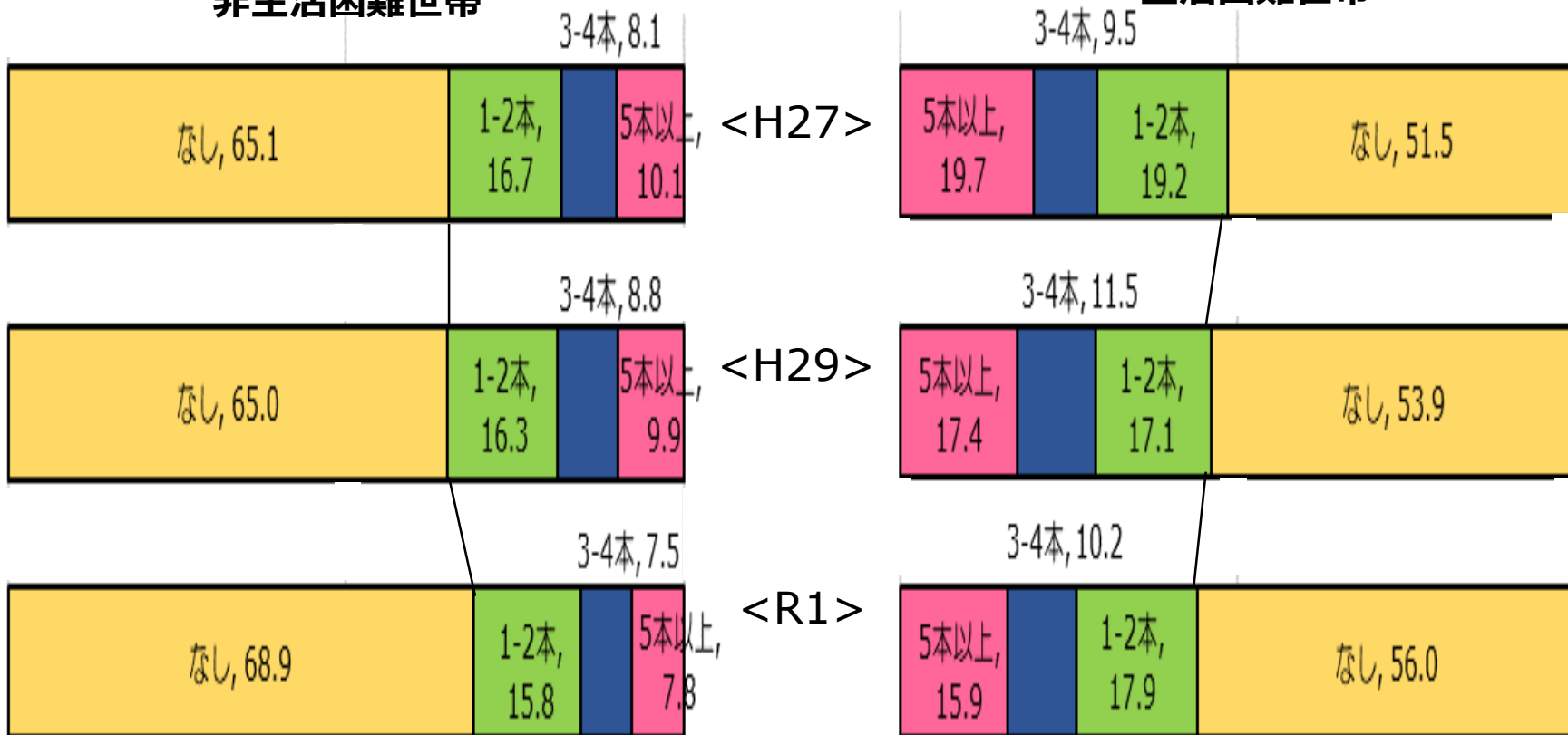
POINT

未通園児も含めて、全ての子どもに受診の勧奨を継続した結果、虫歯が1本もない子どもの割合が大幅に改善

## むし歯の本数

非生活困難世帯

生活困難世帯



# 学校と衛生施策の連携 子どもの健康・生活実態調査

## POINT

学年進行による、健康や生活実態の変化を追跡・検証  
(衛生部が企画し、学校を通じて配布・回収)

年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
対象者 その1 (2008年 生まれ)	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
対象者 その2		小4小6 中2 (一部)		小6中2 (一部)		中2 (一部)			
対象者 その3			小1 (2010年 生まれ)		小1 (2012年 生まれ)		小1 (2014年 生まれ)		小1 (2016年 生まれ)

同じ集団を追跡することで、継時的変化及び因果関係を調査

他年代の実態把握及び対象者その1との比較

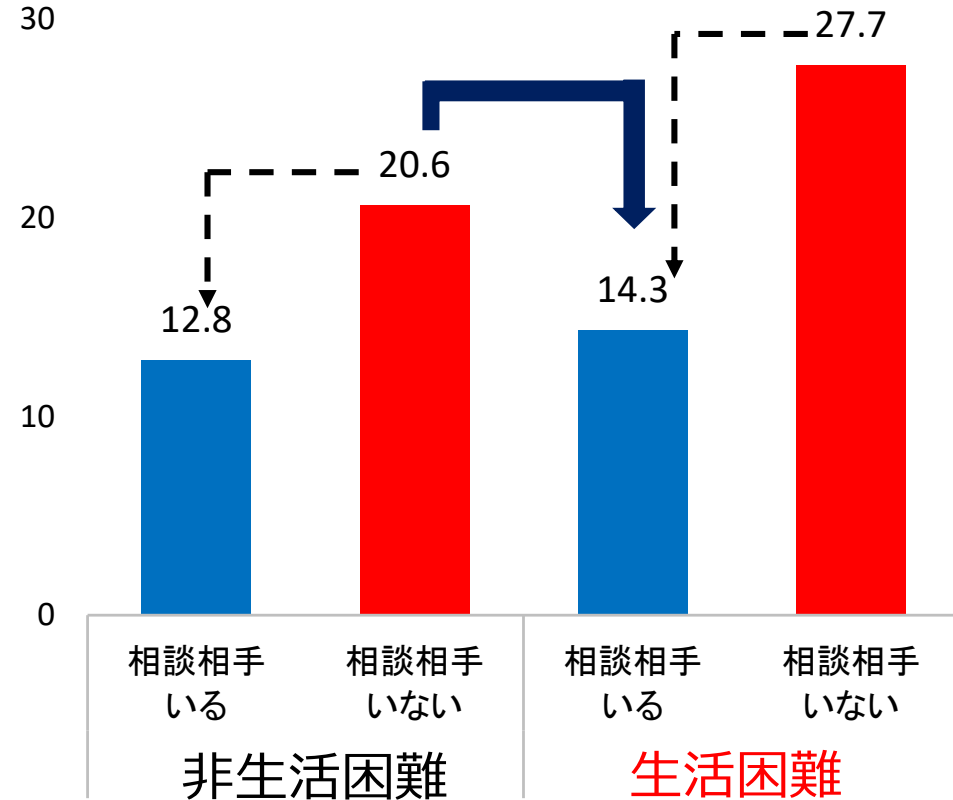
同じ年代を継続的に見て、政策(妊娠期支援)を評価

【調査時期】 平成28年10月(平成27年度は11月本格実施)  
 【実施方法】 無記名アンケート方式(国立成育医療研究センター研究所と東京医科歯科大学が集計・分析)  
 【回答状況】 小2 4,358名(有効回答率81.4%) ※小1 4,291名(有効回答率80.1%)  
 小4 534名(同86.7%) 小6 530名(同85.1%) 中2 588名(同77.9%)  
 ※小1・小2は保護者のみ、小4・小6・中2は保護者と子どもがそれぞれ回答

# 調査から見てきたこと① 子どもの健康・生活実態調査

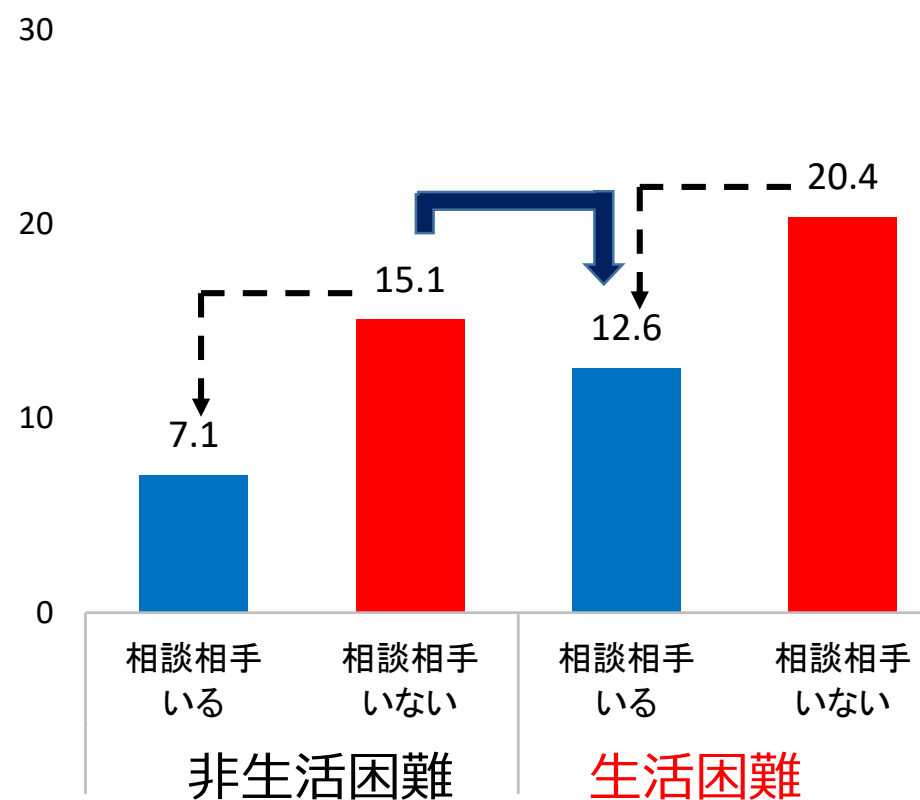
## 思いやりや気づかいなどこころの発達が懸念される子どもの割合

(%)



## 麻しん・風しんワクチン（自己負担なし）未摂取の子どもの割合

(%)

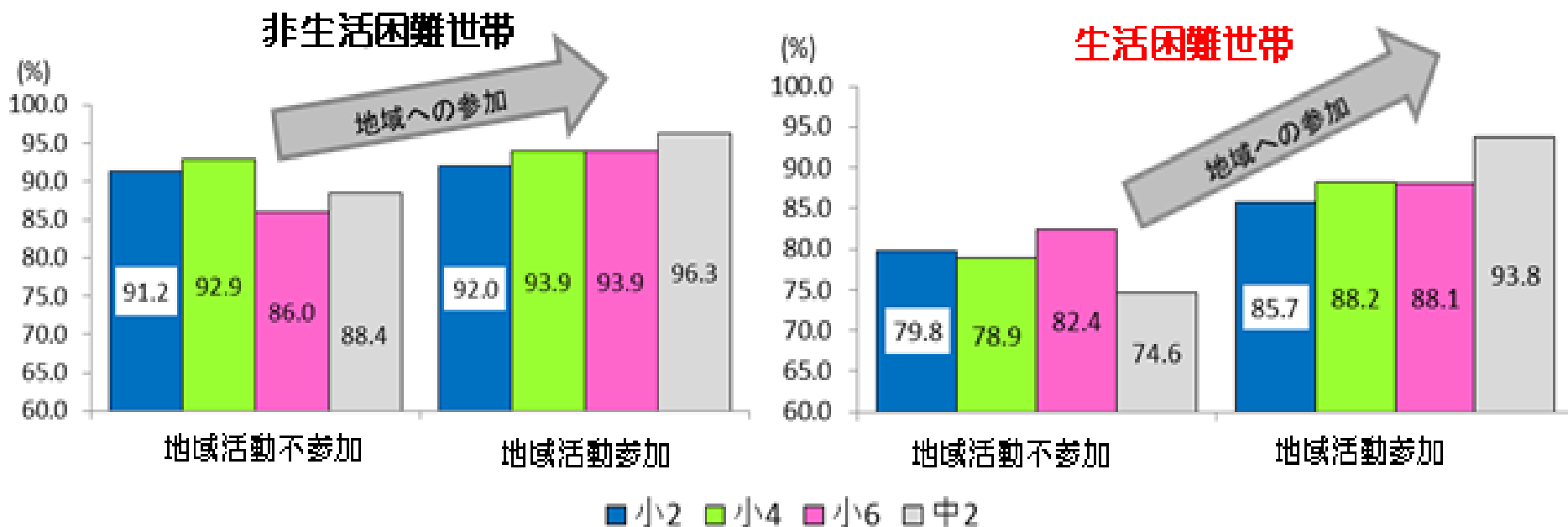


保護者が困ったときに**相談できる相手**がいると子どもの**健康リスクが軽減**する可能性がある



# 調査から見てきたこと② 子どもの健康・生活実態調査

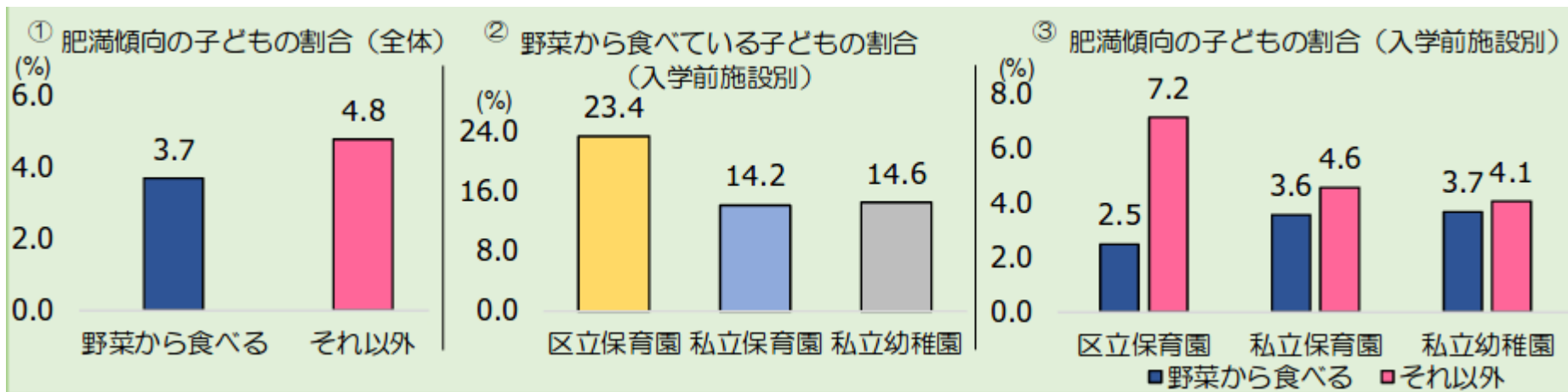
【逆境を乗り越える力（自己肯定感・自己制御能力など）がある子どもの割合】



子どもが**地域活動（近所のお祭り・子ども会・児童館等の教室など）**に参加していると、**逆境を乗り越える力を培える**可能性がある。特に**生活困難世帯で顕著**

「登校しぶり」「朝食欠食」「5本以上のむし歯」などへの影響も緩和傾向にあり、高学年では「幸福度」も高くなる

# 調査から見てきたこと③ 子どもの健康・生活実態調査



## 食事を野菜から食べる習慣が肥満を予防する

- ①野菜から食べている子どものほうが、肥満傾向の割合が低い。
- ②肥満傾向の子どもの割合は区立保育園で特に高いことがわかっていたため、この対策として、区では野菜から食べる習慣を身につける取組みを、区立保育園で強く押し進めてきた。
- ③その結果、食事を野菜から食べている場合の肥満傾向は、私立保育園・幼稚園に比べて、区立保育園で特に低くなった。

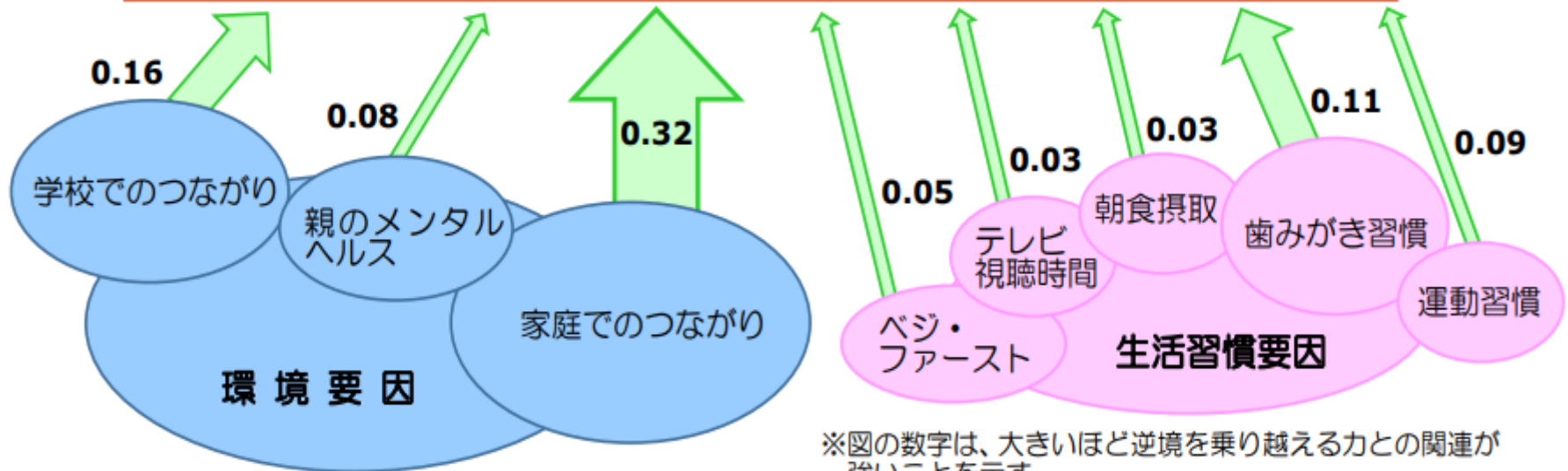
# 調査から見てきたこと④ 子どもの健康・生活実態調査

**New!**

## 良い環境や生活習慣が逆境を乗り越える力を育みます

逆境を乗り越える力には、子どもにとって学校や家族という時間が楽しいと思えるような環境や、歯みがき・運動習慣などの生活習慣が強く関連していることが分かりました。

### 逆境を乗り越える力



※図の数字は、大きいほど逆境を乗り越える力との関連が強いことを示す

# ご清聴ありがとうございました



足立区ビューティフル・スクール運動実施中

僕の学校のこんなところが好き 私の学校のあんなところが好き